

# TOEIC TEST 対策

EMCS 塾長 横田 壽

# 目次

|              |                                      |           |
|--------------|--------------------------------------|-----------|
| <b>第 1 章</b> | <b>英語の学び方</b>                        | <b>1</b>  |
| 1.1          | reading comprehension . . . . .      | 1         |
| 1.2          | listening comprehension . . . . .    | 2         |
| 1.3          | speaking, writing . . . . .          | 2         |
| <b>第 2 章</b> | <b>文法</b>                            | <b>5</b>  |
| 2.1          | 文 . . . . .                          | 5         |
| 2.2          | 品詞 (parts of speech) . . . . .       | 6         |
| 2.3          | 名詞についてもっと詳しく . . . . .               | 8         |
| 2.4          | 動詞について . . . . .                     | 11        |
| 2.5          | 形容詞と副詞 . . . . .                     | 20        |
| 2.6          | 代名詞の正しい用法 . . . . .                  | 22        |
| 2.7          | 前置詞の正しい用法 . . . . .                  | 25        |
| 2.8          | 句の認知 (recognizing phrases) . . . . . | 26        |
| 2.9          | 節の認知 (recognizing clauses) . . . . . | 27        |
| 2.10         | 主語と動詞の一致 . . . . .                   | 28        |
| 2.11         | 先行詞の人称と代名詞の一致 . . . . .              | 31        |
| <b>第 3 章</b> | <b>スペリング</b>                         | <b>33</b> |
| 3.1          | スペリングの向上 . . . . .                   | 33        |
| 3.2          | 発音の似た単語 . . . . .                    | 34        |
| <b>第 4 章</b> | <b>EXERCISE 解答</b>                   | <b>35</b> |



# 第1章 英語の学び方

このテキストでは、学部、大学院、大学助教授、客員教授として過ごした15年間のアメリカ生活から得た英語の学び方についてお話しします。英語の学び方についての話をする前に、英語を学ぶとは英語の力を付けることです。英語の力とはコミュニケーションの能力だと思ってください。相手の言っていることが理解できる力 (listening comprehension)。相手に自分の考えを伝えることができる力 (speaking ability)。そして、相手と文章、グラフ、チャートなどにより、やり取りができる力 (reading comprehension, writing ability) の4つです。そこで、これらの事柄に関しての学び方をお話しします。

## 1.1 reading comprehension

英語の文を読むときには、左から読んでいきます。このとき、主語を見つけたらその後続くものは、主語をなんらかの形で説明しているものだと頭に入れて、英語の文を読む訓練をしてください。次の章で主語や述語についての説明をしますが、ここでは、文の読解についての話ですので、細かいことは気にしないように。

例えば、次の文を左から読んでください。

The man is sitting on the pier.

1. The man と読んだところで、この文はある男の人について説明していることが分かります。
2. 続けて読むと、is sitting とでできます。is sitting とは座っていることですので、その男の人は座っているとなります。
3. 当然、ここでどこに座っているのか知りたくなります。
4. 続けて読むと、on the pier となり、棧橋の上にと分かります。この段階で、英語が母国語の人たちは、その男は (何をしている) 座っている (どこに) 棧橋の上にて、文が完結します。
5. 日本語が母国語の人たちでも、主語が見つかったら、(何している、どうなっている) という質問をし、その後で、(どこに、どのように) という質問を頭のなかですると、わざわざ、その男は棧橋の上に座っていると書き直さなくても分かるでしょう。

もう一つ例を見てみましょう。

Before we start working, we usually have coffee.

1. Before we start working と読んだところで、この文は仕事を始める前について説明していることが分かります。
2. ここで、何をしているのか知りたくなります。
3. 続けて読むと、we usually have coffee とでできますので、普段、コーヒーを飲んでいることが分かります。

ここで、リスニングにも関係してきますので、もう一度、上の例題を見てください。最初の例題で The ではなく The man で文を切っています。これも英語を学ぶ上で大事なことです。どういうことかということ、英語を英語で理解するためには、話の対象となっているものが何であるかをまず見つける必要があるのだ

す。次に、Theではなく、The man が話の対象であることが分かったら、頭のなかに男の人を思い浮かべて下さい。その後、is sitting となったところで、頭に浮かべた男の人を座っている姿にして下さい。最後に、on the pier となったところで、頭の中でその男の人を棧橋の上において下さい。これで、頭の中には、棧橋の上に座っている男の人が想像されているはずです。これが、英語を英語で理解することです。

次の章を学ぶときには、このようなことに気をつけて勉強してください。必ず、英語の力がつきます。

## 1.2 listening comprehension

英語を聞いて分かるとは、どのようなことでしょうか。仕事の関係でアメリカで生活している人たちを見ると、アメリカに来てから6ヶ月くらいのところで、大人の人でも相手が何を言っているのか分かるようになってきたといえます。しかし、本当に相手の言うことが分かるようになったのでしょうか。私が見てきた多くの英語を母国語としない人たちは、本当は相手が何を言っているのか分かっていませんでした。では、なぜ分かるようになったと感じたのでしょうか。実は、私たちの脳は一字一句すべてが分からなくても、単語と単語の間を埋めることができるのです。アメリカで半年も暮らすと、アメリカ人の発音に耳がなれて、自分の知っている単語と、発音されている単語とが一致するようになります。すると、一つの文の三分の一程度の単語が分かったとしても、脳が間を埋めるために分かったような気がするのです。では、本当に分かるようにするにはどうすればよいのでしょうか。そのことについてお話しします。

読解のところで、お話ししたように、英語の文は左から理解していくということです。リスニングでは、特にこのことに注意が必要です。英語では必ず主語が文の初めのほうに出てきます。そこで、主語を聞き分ける力を身につける必要があります。そのためには、以下のようにするとよいでしょう。

1. 聞く力を付けるには、正しい発音で発音された単語を覚える必要があります。今や、インターネットで正しい発音を聞くことができるので、利用してください。
2. 自分の知っている単語を全て正しい発音で聞きなおしてください。できれば、自分でその音にできるだけ近い音を出す訓練をしてください。

これは非常に大事なことです。日本語を母国語とする人の多くは、自分勝手な発音で単語を覚えてしまい、英語を母国語とする人の言葉が理解できない場合が多々あります。これに関連した話で、アメリカ英語を母国語とする人は、イギリス英語やオーストラリア英語を聞いた場合、半分くらいしか聞き取れないといえます。日本では、日本人は日本語訛りで英語を喋ればよいので、発音なんか気にするなという声を耳にしますが、相手が聞き取れないような言葉を喋っても意味がないでしょう。

英語を聞くときにも主語を見つけたら、(何している、どうなっている)という質問をし、その後で、(どこに、どのように)という質問を頭のなかでするとよいでしょう。

## 1.3 speaking, writing

相手に何かを伝えるためには、相手が分かるように説明をしなければなりません。例えば、自分の父親が棧橋の上に座っているという光景を目にし、相手にそれを説明することを考えて見ましょう。これを英語ではどのように表現するのでしょうか。

1. まず、相手に棧橋の上で座っている人に注意を向けさせます。
2. そのあと、棧橋の上で座っている人についての説明をするでしょう。

これより、次のような表現になるでしょう。

You see the man sitting on the pier is my father.

これが相手が不特定多数の場合、つまり、文章に直した場合は、

The man sitting on the pier is my father.

または、

My father is sitting on the pier.

となつて、すこしニュアンスが違った文が作れます。

この文を

The man is my father.

とすると、どの男の人がよく分かりません。そこで、この男の人についての色々な説明がつくのです。この説明の仕方の決まりをまとめたのが文法と呼ばれるものです。speaking も writing も相手に物事を説明するための手段ですので、英語を学ぶには文法も学ぶ必要があります。



## 第2章 文法

### 2.1 文

文とは考えを表現するための単語の集まりである。文には主語と述語が含まれている。

1. 主語 (subject) は文の中で何かを行なっているか何かである人、場所、物、観念である部分である。
2. 述語 (predicate) は主語について何か言っている部分である。

| 主語             | 述語                                   |
|----------------|--------------------------------------|
| The man<br>その男 | is sitting on the pier.<br>は桟橋に座っている |

The man は完全主語 (complete subject) とよばれ、核の部分の man は単純主語 (simple subject) と呼ばれる。また、is sitting on the pier は完全述語とよばれ、is sitting は単純述語と呼ばれる。

| 主語                          | 述語                        |
|-----------------------------|---------------------------|
| The man on the pier<br>桟橋の男 | is a fisherman.<br>は漁師である |

#### 3. 文の構造上の分類

文は一般に、独立節 (independent clause) と呼ばれるそれ自身が1つの文の集まりで作られている。独立節は主要節 (main clause) と呼ばれる。

- 単文 (simple sentence) は1つの独立節だけで作られている文である。

| 主要節  |
|--|
| We all have coffee in the morning.<br>私たちは皆、朝コーヒーを飲む |

- 重文 (compound sentence) は別の主要節を等位接続詞 (coordinate conjunction)(and, but, or, nor, for) を用いてつなげたものである。

| 主要節                                    | 接続詞        | 主要節  |
|--|------------|--|
| I bring the pastries,<br>私がペーストリを持って行き | and<br>そして | we all have coffee in the morning.<br>私たちはみんなで朝コーヒーを飲む |

それ自身だけで文を作ることができない節や主要節に結合された節を従属節という。

- 複文 (complex sentence) は従属節を従属接続詞 (subordinate conjunction)(after, if, because, etc) を用いて、主要節につなげたものである。

| 従属節                                  | 主要節                                      |
|--------------------------------------|--|
| Before we start working,<br>仕事を始める前に | we usually have coffee.<br>私たちは普通コーヒーを飲む |



## 2.2 品詞 (parts of speech)

英単語はその機能によって8つの種類に分類される。

1. 名詞 (nouns) は人 (people)、動物 (animals)、場所 (places)、もの (things)、観念 (ideas) を表す言葉である。

|        |                                      |
|--------|--------------------------------------|
| Person | Maria, woman, boy, girl              |
| Animal | elephant, lion, mice                 |
| Place  | Chicago, Tokyo, Europe, earth        |
| Thing  | shoe, car, carrots, pencil, sand     |
| Idea   | love, strength, encourage, democracy |

2. 代名詞 (pronouns) は名詞の代わりに用いられるもので、代名詞によって置き換えられる名詞を先行詞 (antecedent) という。代名詞は名詞を置き換えるだけでなく、その名詞に付随する部分もまとめて代名詞で置き換える。

|  |
|--|
| The man with the beard is waiting for his daughter.<br>髭のおとこは彼の娘を待っている |
|--|

において、his は The man with the beard を置き換えている。

3. 形容詞 (adjectives) は名詞や代名詞を修飾する言葉である。

記述形容詞 (descriptive adjective) はどんな種類かを表す : small car, green rug, fast train

限定形容詞 (limiting adjective) は何個とかどっちのとかを表す :

|                       |                                    |
|-----------------------|------------------------------------|
| 所有格 (possessive)      | my car, his book, their house      |
| 指示詞 (demonstrative)   | this chair, that one               |
| 疑問代名詞 (interrogative) | whose dog, which secret, what time |
| 冠詞 (articles)         | a sailor, an apple, the building   |
| 数詞 (numerals)         | one week, second Tuesday.          |

4. 動詞 (verbs) は主語について何かを主張するのに用いられる言葉の集まりである。主張は行動 (action) が伴っていたり何々である様子 (state of being) を表したりする。

|                    |  |
|--------------------|--|
| Action(行動)         | The audience <b>laughed</b> .<br>聴衆は笑った          |
| State of being(状態) | Her father <b>is</b> a professor.<br>彼の父は大学教授である |

動詞は1つ以上の助動詞と合わさって完了形を作る。

|  |
|--|
| The ship <b>had sailed</b> earlier.<br>その船は早く出航してしまった                                    |
| By Monday, I <b>will have been dieting</b> for a whole week.<br>月曜になると、一週間ダイエットしていることになる |

5. 副詞 (adverbs) は動詞、形容詞、さらには副詞を修飾する言葉である。

|                                  |                    |
|----------------------------------|--------------------|
| He drives <b>carefully</b> .     | 安全な運転をする (動詞の修飾)   |
| He is <b>very</b> careful.       | 非常に慎重な人 (形容詞の修飾)   |
| He drives <b>very</b> carefully. | 非常に慎重に運転する (副詞の修飾) |

副詞はいつ、どこに、どのように、どのくらいかを表す。

|                        |   |
|------------------------|---|
| いつ (when)              | She will come <b>soon</b> .<br>彼女はすぐに来るだろう    |
| どこに (where)            | You may sit <b>here</b> .<br>ここに座ってもよい        |
| どのように (how)            | He studied <b>diligently</b> .<br>彼は一生懸命に勉強した |
| どのくらい (to what extent) | I was <b>quite</b> angry.<br>私は非常に怒っていた       |

6. 前置詞 (prepositions) は名詞または代名詞と文中のほかの言葉との関係を表す。前置詞と前置詞の目的語としての名詞または代名詞により前置詞句 (prepositional phrase) が形成される。

| 主語         | 動詞     | 前置詞句      |           |
|------------|--------|-----------|-----------|
|            |        | 前置詞       | 目的格       |
| We         | walked | <b>to</b> | the store |
| その店へ歩いて行った |        |           |           |

で前置詞 to は (到達を前提とする) 「方向」を表している。

一般的な前置詞には、in, at, by, on, for, from, with, over, between, under, concerning, regarding, because of, in spite of, instead of, on account of, out of などがある。

7. 接続詞 (conjunctions) は語、句、節をつなぐ言葉である。

等位接続詞 (coordinate conjunction)(and, but, or, nor, for)

|   |  |
|---|--|
| 語 | <b>French and German</b> are offered every semester.<br>フランス語とスペイン語は毎学期開講される                 |
| 句 | Submarines can travel <b>on the surface or under water</b> .<br>潜水艦は水上または水中を進むことができる         |
| 節 | <b>The war dragged on, but the people did not get discouraged</b> .<br>戦争が長引いたが、人々は勇気を失わなかった |

従属接続詞 (subordinate conjunction)(after, if, because, etc) は従属節を開始するのに用いられる。

|  |
|--|
| They got to the airport <b>after</b> the plane had left.<br>飛行機が飛び立った後に、彼らは空港に着いた        |
| <b>Because</b> the roads were flooded, traffic moved slowly.<br>道路が冠水していたので、車の交通はゆっくりだった |

8. 感嘆詞 (interjections) は気持ちを表現する言葉である。

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| Mild Interjection<br>弱い感嘆   | <b>Well</b> , what shall we do now?<br>えーと、いま何でしょうか |
| Strong Interjection<br>強い感嘆 | <b>What!</b> I can't believe it!<br>ええー、そんなこと信じられない |

#### 品詞に分類

| 代名詞 | 副詞      | 動詞   | 名詞     | 前置詞 | 冠詞  | 名詞       |
|-----|---------|------|--------|-----|-----|----------|
| We  | usually | have | coffee | in  | the | morning, |

| 接続詞 | 代名詞 | 助動詞 + 副詞 | 動詞   | 副詞  | 形容詞   | 名詞    |
|-----|-----|----------|------|-----|-------|-------|
| but | we  | cannot   | find | any | clean | cups. |

|      |       |     |     |       |
|------|-------|-----|-----|-------|
| 感嘆詞  | 副詞    | 動詞  | 冠詞  | 名     |
| Hey! | Where | are | the | cups? |

品詞をその働きによって分類

|    |         |      |       |        |     |     |          |
|----|---------|------|-------|--------|-----|-----|----------|
| 主語 | 修飾語     | 動詞   | 間接目的語 | 直接目的語  | 前置詞 | 修飾語 | 前置詞の目的語  |
| We | usually | make | them  | coffee | in  | the | morning. |

品詞が集まって句(フレーズ)を形成することができる。

例(句)

| 名詞句 |       |      | 前置詞句 |     |         | 動詞句    |      |
|-----|-------|------|------|-----|---------|--------|------|
| 副詞  | 形容詞   | 名詞   | 前置詞  | 冠詞  | 名詞      | 助動詞+副詞 | 動詞   |
| any | clean | cups | in   | the | morning | cannot | find |

## 2.3 名詞についてもっと詳しく

### 1. 名詞の種類

名詞は普通次のように分類される。

- (a) 普通名詞 (common nouns) 場所、人、ものを表す名詞。固有名詞以外を普通名詞という。  
man, chair, city, three mice, two friends など、数えられる。

|   |          |                       |                                   |
|---|----------|-----------------------|-----------------------------------|
| 人   | もの       | 場所                    | もの                                |
| George and                                | Godzilla | walked to Papa John's | to order a large pepperoni pizza. |
| ジョージとゴジラはLサイズのペパロニピザを注文するためにパパジョンズへ歩いていった |          |                       |                                   |

普通名詞には具象名詞、集合名詞、抽象名詞が含まれる。

- i. 具象名詞 (concrete nouns) 五感によって認知できるものを表す名詞。

rock, house, book, burn, airplane

これらは数えられる。

- ii. 物質名詞 (material nouns) 物質を表す名詞。

butter, smoke, money, milk, water, wood, air

これらの名詞は一般に数えられない。そこで, a glass of water, a glass of milk, a cup of coffee などのように入れる容器を使って用いる。

- iii. 集合名詞 (collective nouns) あるもののまとまりを表す名詞。

単数形扱いになったり、複数形扱いになったりする。

|             |            |          |
|-------------|------------|----------|
| army        | council    | minority |
| audience    | department | navy     |
| board       | faculty    | public   |
| cabinet     | family     | school   |
| class       | firm       | senate   |
| committee   | group      | society  |
| company     | jury       | team     |
| corporation | majority   | troupe   |

|   |  |
|---|--|
| 誤 | The new <b>furnitures</b> look good in the lobby.                  |
| 正 | The new <b>furniture</b> looks good in the lobby.<br>新しい家具はロビーに合う。 |

furniture(家具) は椅子やらテーブルやらのまとまりを総称しているものなので、数えられない。

## iv. 抽象名詞 (abstract nouns) 質やら観念を表す名詞。

kindness, love, tragedy, ambition, selfishness

抽象名詞は一般に数えられない。

|   |  |
|---|--|
| 誤 | Confidence are reassuring to clients.                |
| 正 | Confidence is reassuring to clients.<br>信頼は顧客を安心させる。 |

confidence(信頼) は抽象名詞なので数えられない。

## (2-3-1a-1) EXERCISE

Choose the one word or phrase that best completes the sentence.

New employees asked to attend orientation.

- (A) is
- (B) are

## (2-3-1a-2) EXERCISE

Choose the one word or phrase that best completes the sentence.

The secretary ordered two for the meeting.

- (A) trays of food
- (B) foods

## (2-3-1a-3) EXERCISE

Choose the one word or phrase that best completes the sentence.

Production increased since Mr. Toyota revised the plan.

- (A) has
- (B) have

## (2-3-1a-4) EXERCISE

Choose the word or phrase that best completes the sentence.

The police when the alarm goes off.

- (A) arrive quickly
- (B) is arriving
- (C) arrives quickly
- (D) has arrived

## (b) 固有名詞 (proper nouns) ある人、ある物、ある場所などを指す名詞。

Marilyn Monroe, Hiroshima, Thanksgiving Day

特に名詞には以下のような重要な使い方がある。

2. 主語としての名詞 主語は、文のなかで誰が何がとか言っている部分である。例えば、Birds fly. では [What flies?] という質問に対し、Birds と答えることができるので、Birds が主語。

The children were excited. では [Who was excited?] という質問に対し、children と答えることができる。

3. 補語 (complement) は述語の中にあり、動詞の意味していることを補い完全にするものである。補語には 4 つの種類がある。

## (a) 主格補語 (subjective complement) は連結動詞 (be become seem など) の後にきて、主語の説明や主語との同一視を行う。

|         |      |       |
|---------|------|-------|
| S       | V    | C     |
| 主語      | 動詞   | 主格補語  |
| He      | lies | dead. |
| 彼は死んでいる |      |       |

(b) 目的格補語 (objective complement) は直接目的語の後にきて、直接目的語に関連させる。

|                 |         |       |            |
|-----------------|---------|-------|------------|
| S               | V       | DO    | C          |
| 主語              | 動詞      | 直接目的語 | 目的補語       |
| We              | elected | Peter | president. |
| ピーターをプレジデントに選んだ |         |       |            |

(c) 動詞補語 (verb complement) は動詞の直接目的語か間接目的語である。

- 直接目的語 (direct object) は動詞の後で、何を (What) とか誰に (Whom) という質問に答えるものである。

|    |        |     |          |
|----|--------|-----|----------|
| 主語 | 動詞     | 冠詞  | 直接目的語    |
| I  | opened | the | package. |

|    |     |          |
|----|-----|----------|
| 主語 | 動詞  | 直接目的語    |
| I  | met | Rebecca. |

- 間接目的語 (indirect object) は直接目的語の前で、何に (to what or for what) とか誰のために (to whom or for whom) という質問に答えるものである。見分け方。間接目的語で文を終了すると、文が完成しない。

|    |      |       |    |       |
|----|------|-------|----|-------|
| 主語 | 動詞   | 間接目的語 | 冠詞 | 直接目的語 |
| I  | gave | Tony  | a  | book. |

#### 4. 前置詞の目的語

|  |
|--|
| He lives in <b>Montreal</b> .<br>彼はモントリオールに住んでいる                   |
| Sit between <b>Martha and me</b> .<br>マーサと私の間に座りなさい                |
| I gave a bottle of wine to <b>Pierre</b> .<br>ピエールにボトルに入ったワインをあげた。 |

5. 同格 同格 (apositive) とは別の名詞のあとにきて、その名詞をさらに同一にみなす名詞。

|  |
|--|
| His <b>invention</b> , a better <b>mousetrap</b> , brought him great wealth.<br>彼の発明、つまりよりよいネズミ捕りが彼に富を持ち込んだ  |
| Margaret Mitchell's only published <b>novel</b> , <b>Gone with the Wind</b> , was an instant success.<br>マーガレット ミッチェルの唯一とつ出版本、風とともに去りぬ、は瞬時に大当たりだった |

6. 直接指示 (direct address)

|   |
|---|
| <b>Ali</b> , please see me after class.<br>アリ、授業でのあとで来なさい |
|---|

7. 不特定名詞

どの事柄について話しているのかははっきりさせていない場合で単数形の名詞の場合、不定冠詞 a または an を用いる。

|           |   |
|-----------|---|
| Count(単数) | I read <b>a book</b> that was very good.<br>私は、とても良い本を読んだ。良い本は沢山あり、その内の一冊           |
| Count(複数) | I read <b>some books</b> that were very good.<br>私は、いくつかのとても良い本を読んだ。良い本は沢山あり、その内の数冊 |
| Non-count | I read <b>some literature</b> that was very good.<br>私は、とてもよいある書物を読んだ。              |

literature(書物)

不特定名詞は特定名詞に変化する。

日本語でその、あの、このを付けていい直せる事柄の場合、定冠詞 the を用いる。また、この世の中に一つしかないものの場合にも the を用いる。例えば、the sun など。

|           |   |
|-----------|---|
| Count(単数) | I read <b>a book</b> that was very good. The title of <b>the</b> book was ...<br>その本のタイトルは... と特定の本を指すので the が必要        |
| Count(複数) | I read <b>some books</b> that were very good. The author of <b>the</b> books was ...<br>それらの本の著者は... と特定の本を指すので the が必要 |
| Non-count | I read <b>some literature</b> that was very good. The theme of <b>the</b> literature was ...                            |

(2-3-7a-1) **EXERCISE**

Choose the one word or phrase that best completes the sentence.  
of the entire department made the project a success.

- (A) An effort
- (B) A effort
- (C) Effort
- (D) The effort

どの努力と聞けば、全ての部署の努力となるので、特定できる。

(2-3-7a-2) **EXERCISE**

Choose the one word or phrase that best completes the sentence.  
always interrupts your work during the day.

- (A) Long meeting
- (B) The long meeting
- (C) A long meeting
- (D) The meeting

どの会議と聞くと、どんな会議でもとなるので、不特定名詞。

## 2.4 動詞について

### 1. 動詞と 5 文型

英語の文は主語 + 述語動詞を中心に成り立っている。述語動詞(単に動詞)の性質によって 5 文型に分けられる。

|        |                         |                   |
|--------|-------------------------|-------------------|
| 第 1 文型 | 主語 + 動詞                 | (S + V)           |
| 第 2 文型 | 主語 + 動詞 + 主格補語          | (S + V + SC)      |
| 第 3 文型 | 主語 + 動詞 + 直接目的語         | (S + V + DO)      |
| 第 4 文型 | 主語 + 動詞 + 間接目的語 + 直接目的語 | (S + V + IO + DO) |
| 第 5 文型 | 主語 + 動詞 + 直接目的語 + 目的格補語 | (S + V + DO + OC) |

## 2. 動詞の種類

- (a) 他動詞 (transitive verb) 文を完結するために直接目的語を取る動詞。

|   |                                  |
|---|----------------------------------|
| The batter <b>missed</b> the ball.<br>バッターはボールを打ち損ねた。 | The batter missed<br>the ball    |
| The judge <b>explained</b> the rules.<br>裁判官は規則を説明した  | The judge explained<br>the rules |

- (b) 自動詞 (intransitive verb) 補語なしで文を完結することができる動詞。

|  |
|--|
| The building <b>collapsed</b> .<br>ビルが崩れた                          |
| Cinderella usually <b>slept</b> in the kitchen.<br>シンデレラは普段キッチンで寝た |
| The patient <b>died</b> .<br>患者は亡くなった                              |

- (c) 連結動詞 (linking verb) 主語と主語を修飾する主格補語を連結する動詞。(be 動詞, 知覚動詞 (look, sound, smell, feel, taste), 状態を表す動詞 (appear, seem, become, grow, turn, prove, remain)) S + V + SC を作る。

|  |
|--|
| Those people <b>are</b> all professors.<br>この人たちは、みな大学教授です |
| Those professors <b>are</b> brilliant.<br>この教授たちはみな頭脳明晰です  |
| This room <b>smells</b> bad.<br>この部屋は悪い臭いがする               |
| I <b>feel</b> great.<br>とっても気分がいい                          |
| A victory today <b>seems</b> unlikely. 今日の勝利は見込めないようだ      |

- (d) 助動詞 (auxiliary verb)

have, can, may, must, should, would, ought to, used to など

|   |
|---|
| Gregory <b>had</b> forgotten his appointment.<br>グレゴリは約束を忘れてしまった      |
| We <b>are</b> flying to Hawaii tomorrow morning.<br>明日の朝、ハワイへ飛行機で行きます |
| We <b>may be</b> able to attend the rehearsal.<br>リハーサルへ出席できるかもしれません  |

## 3. 動詞の時制

| 動詞       | 現在時制    | 過去時制     | 未来時制         | 現在完了時制         | 過去完了時制        | 未来完了時制              |
|----------|---------|----------|--------------|----------------|---------------|---------------------|
| to work  | I work  | I worked | I will work  | I have worked  | I had worked  | I will have worked  |
| to write | I write | I wrote  | I will write | I have written | I had written | I will have written |

- (a) 現在時制 (Present Tense): 現在時制は現在起きている出来事や、恒久的に正しい観念を表すのに用いられる。

I see him. She sees me. Water freezes at 0°C.

- (b) 過去時制 (Past Tense): 過去の出来事を表すのに用いられる。

I saw him yesterday. She saw me last night.

- (c) 未来時制 (Future Tense): 話者や主語の意思に関係なく、未来に起こると予測される事柄を表す。

She will see me tomorrow after class.

- (d) 現在完了時制 (Present Perfect Tense): 過去の出来事や状態が、なんらかの点で現在とつながりを持っていることを表す。

|   |
|---|
| I <b>have read</b> his article already (so I know what he says in the article).<br>私は彼の論文をすでに読んだことがある (だから、その論文でなんと言っているか知っている) |
| She <b>has been</b> sick since last Friday (and she is still in bed).<br>彼女は先週の金曜日からずっと病気です (そしてまだ床についています)                     |

- (e) 過去完了時制 (Past Participle Tense): 過去のあるときに、すでにある出来事が起きてしまっていることを表す。

|  |
|--|
| I <b>had read</b> the book before I saw the movie.<br>映画を見る前にその本を読んてしまった                 |
| That was the first time we <b>had ever eaten</b> Mexican food.<br>メキシコ料理を食べたのは、それが初めてだった |

- (f) 未来完了時制 (Future Participle Tense): 未来のあるときまでに、出来事が完了することを表す。

|  |
|--|
| By next Monday, he <b>will have marked</b> all of the papers.<br>次の月曜までに、試験の採点を済ませているだろう |
| We <b>will have lived</b> here three years in August.<br>8月でここに3年間住んだことになるろう             |

#### 4. 時制の一致

|   |  |
|---|--|
| 誤 | He <b>finished</b> his work and <b>hurries</b> away.                     |
| 正 | He <b>finished</b> his work and <b>hurried</b> away.<br>彼は仕事を終えてすぐに出て行った |

等位接続詞 and で結ばれているので、同じ時制でなければならない。

|   |  |
|---|--|
| 誤 | I <b>will be working</b> on the project when Mr. Dobois <b>arrived</b> .                                   |
| 正 | I <b>was working</b> on the project when Mr. Dobois <b>arrived</b> .<br>Dobois 氏が到着したときに、私はプロジェクトの仕事をしていた。 |

when などの関係副詞で接続された文は時制の一致の規則に従う。

#### 5. 人称の一致

|                |  |
|----------------|--|
| 1 人称 (話をしている人) | I am, We are, I go, I think                |
| 2 人称 (話しかれた人)  | you are, you go, you think                 |
| 3 人称 (それ以外の人)  | he or she is, he goes, they go, she thinks |

#### 6. 叙法 (mood)

動詞の叙法はどのような状況で声明文が作られたかを指し示す。動詞の叙法には、直説法、命令法、仮定法の3つがある。

- (a) 直説法 (indicative mood) は声明文を作ったり、疑問文を作るのに用いられる。

Dinner is ready  
Is dinner ready?

- (b) 命令法 (imperative mood) は要求や指令を出すときに用いられる。命令法では主語が省略される。

Sign your name on the dotted line.  
Get out of town.

- (c) 仮定法 (subjunctive mood)



## ● 願望を表す

|   |  |
|---|--|
| 誤 | She wishes her boyfriend <b>is</b> here.                       |
| 正 | She wishes her boyfriend <b>were</b> here.<br>ボーイフレンドがここにいたらな— |

実際は、ボーイフレンドはここにいない。

## ● if で始まり事実と反する状態を表す was ではなく were を用いる。

|   |
|---|
| If Juan <b>were</b> more aggressive, he'd be a better player. |
| If they <b>were</b> faster, we could have won the race.       |
| We would have passed if we <b>had</b> studied harder.         |

## (2-4-6c-1) EXERCISE

Choose the one word or phrase that best completes the sentence.

Many subscribers have requested that we the journals to their offices.

- (A) mails
- (B) mailed
- (C) mail
- (D) mailing

## ● as if や as though で始まる節が事実と反する状態を表す

|                                       |
|---------------------------------------|
| He acted as if he <b>were</b> guilty. |
|---------------------------------------|

7. 使役動詞 使役動詞はある人が他の人に何かをやらせることを表したり、他の出来事を引き起こす事を表す。使役動詞は以下のような動詞である。TOEIC では、PartV, PartVI で必ず1問はあります。

|          |      |        |        |        |         |           |          |     |
|----------|------|--------|--------|--------|---------|-----------|----------|-----|
| let      | make | help   | allow  | have   | require | encourage | motivate | get |
| convince | hire | assist | permit | employ | force   | want      |          |     |

- (a) このなかで、次の3つの動詞 (have, make, let) は S + 使役動詞 + O(人) + 原形の形をとる。目的語が人であることに注意

|  |
|--|
| Professor Villa <b>had</b> her students <b>read</b> four short novels in one week. |
|--|

ピラ教授は彼女の学生に一週間で4冊の小説を読ませた

|   |
|---|
| She also <b>made</b> them <b>read</b> five plays in one week. |
|---|

彼女はまた、一週間で5つの脚本をよませた

|  |
|--|
| However, she <b>let</b> them <b>skip</b> the final exam. |
|--|

しかしながら、期末試験を受けなくてもよいことにした

## (2-4-7a-1) EXERCISE

Choose the one word or phrase that best completes the sentence.

The human resources assistant makes all job applicants a typing test.

- (A) take
- (B) takes
- (C) to take
- (D) had taken

## (2-4-7a-2) EXERCISE

Choose the one word or phrase that best completes the sentence.

The president had her travel agent the reservation.

- (A) made
- (B) had made
- (C) make

(D) makes

(2-4-7a-3) **EXERCISE**

Choose the one word or phrase that best completes the sentence.

The supervisor had Ms. Fujioka her job responsibilities.

- (A) to write
- (B) wrote
- (C) written
- (D) write

(b) 一人の人が何かを起こすことに使役動詞を用いると、S + 使役動詞 + O + 過去分詞の形をとる。

|   |
|---|
| I <b>will get</b> the documents <b>prepared</b> in two languages. |
|---|

|                   |
|-------------------|
| 2ヶ国語で書類をそろえてもらいます |
|-------------------|

|   |
|---|
| The new director <b>had</b> the office <b>painted</b> |
|---|

|                    |
|--------------------|
| 新しい重役は部屋を塗り替えてもらった |
|--------------------|

(2-4-7b-1) **EXERCISE**

Choose the one word or phrase that best completes the sentence.

The owner of the hotel had the rooms .

- (A) redecorated
- (B) redecorate
- (C) redecorating
- (D) to redecorate

(2-4-7b-2) **EXERCISE**

Choose the one word or phrase that best completes the sentence.

Our company wants its clients with our work.

- (A) satisfying
- (B) satisfy
- (C) satisfied
- (D) satisfaction

(c) 残りの使役動詞は一般に S + 使役動詞 + O(人) + to 不定詞の形をとる。

|   |
|---|
| She <b>allows</b> her pet parakeet <b>to perch</b> on the windowsill. |
|---|

|                      |
|----------------------|
| インコが窓のさんにとまることを許している |
|----------------------|

|  |
|--|
| She <b>hired</b> a carpenter <b>to build</b> a new birdcage. |
|--|

|                   |
|-------------------|
| 新しい鳥かごを作るのに大工を雇った |
|-------------------|

(2-4-7c-1) **EXERCISE**

Choose the one word or phrase that best completes the sentence.

The company has never permitted employees pulbic statement.

- (A) making
- (B) to make
- (C) make
- (D) made

(2-4-7c-2) **EXERCISE**

Choose the one word or phrase that best completes the sentence.

The manager got his staff last weekend.

- (A) to work
- (B) was working
- (C) workable
- (D) worked

(d) **that** で始まり、要求、依頼、要件、提案を表す動詞は原形を用いる。

I requested that he **be** present at the hearing.  
 He demanded that his students **use** two-inch margins.  
 She suggested that we **be** on time tomorrow.

The bell captain **suggested** that more porters **be** hired.  
 もっとポーターを雇うことを進言した

これは , more porters (should) be hired. の should がアメリカ英語では省略されるからである .

(2-4-7d-1) **EXERCISE**

Choose the one word or phrase that best completes the sentence.

Many subscribers have requested that we the journals to their offices.

- (A) mails
- (B) mailed
- (C) mail
- (D) mailing

(2-4-7d-2) **EXERCISE**

Choose the one word or phrase that best completes the sentence.

Many customers have requested that they notice of our sales.

- (A) receive
- (B) receives
- (C) received
- (D) receiving

8. 準動詞 (verbal)

準動詞は動詞から導かれたもので、不定詞 (infinitive)、分詞 (participle)、動名詞 (gerund) がある。

(a) 動名詞 動名詞は現実、躍動的、または実現される出来事を表すのに用いられる。TOEIC では、動名詞の問題が必ず 1 問はでます。

動作の実現にたいして消極的な含みを持つ動詞は動名詞だけを目的語とする。次の動詞は一般に動名詞だけを目的語とする。

|                  |   |
|------------------|---|
| appreciate(感謝する) | I <b>appreciate</b> having the opportunity to speak.<br>話す機会をもてることに感謝する                       |
| avoid(避ける)       | They <b>avoided</b> looking us in the eye.<br>彼らは私たちの目を見ることを避けた                               |
| consider(考慮する)   | We <b>considered</b> staying longer.<br>もうちょっと留まることを考えた                                       |
| delay(遅らせる)      | We <b>delayed</b> writing you until we had more information.<br>もっと情報を手にするまで、あなたに手紙を書くことを遅らせた |
| discuss(討論する)    | Have you <b>discussed</b> working together on this project?<br>このプロジェクトを一緒にやることを話し合いましたか      |
| enjoy(享受する)      | We <b>enjoyed</b> having you for dinner.<br>夕食にお招きできて楽しかったです                                  |
| finish(終了する)     | They will <b>finish</b> correcting the report soon.<br>もうすぐ課題の採点が済むでしょう                       |
| mind(気にする)       | She <b>minded</b> using our toothbrush.<br>彼女は私たちの歯ブラシを使うことを嫌がった                              |
| miss(逸する)        | We <b>missed</b> going to the movies with you.  |
| postpone(延期する)   | Could we <b>postpone</b> leaving?<br>帰るのを遅らせないでしょうか   |
| quit(中止する)       | He wants to <b>quit</b> smoking.<br>彼は喫煙をやめたい   |
| risk(賭ける)        | They <b>risked</b> losing everything.<br>彼らは全てを失うことでもやった                                      |
| suggest(暗示する)    | We <b>suggest</b> leaving on time.<br>定時に帰ることを提案した  |

|   |   |
|---|---|
| 誤 | Mr. Yokota <b>enjoys to program</b> computers.                                    |
| 正 | Mr. Yokota <b>enjoys programming</b> computers.<br>Yokota さんはコンピュータのプログラムを楽しんでいます |

## (2-4-8a-1) EXERCISE

Choose the one word or phrase that best completes the sentence.

The clerk finished the order.

- (A) verify
- (B) to verify
- (C) verifying
- (D) verified

## (2-4-8a-2) EXERCISE

Choose the one word or phrase that best completes the sentence.

The committee postponed until tomorrow.

- (A) to vote
- (B) voted
- (C) vote
- (D) voting

## (2-4-8a-3) EXERCISE

Choose the one word or phrase that best completes the sentence.

The president considered a train instead of a plane.

- (A) taking
- (B) will take
- (C) taken
- (D) to take

- (b) 不定詞 不定詞は可能性のある、仮定の、未来の出来事を表すのに用いられる。TOEIC では、不定詞をとる動詞の問題が必ず1問です。

動作の実現にたいして積極的な含みを持つ動詞は不定詞だけを目的語とする。次の動詞は一般に不定詞だけを目的語とする。

|                |   |
|----------------|---|
| agree(同意する)    | He <b>agreed</b> to complete the project.<br>彼はプロジェクトを完成することに同意した           |
| attempt(企てる)   | They <b>attempted</b> to climb Mt. Fuji.<br>富士山に登ることを企てた                    |
| claim(主張する)    | She <b>claims</b> to be an expert.<br>彼女は専門家であることを主張した                      |
| decide(決心する)   | We <b>decided</b> to hire her anyway.<br>私たちは、いずれにしる彼女を採用することに決めていた         |
| demand(要求する)   | He <b>demanded</b> to know what we were doing?<br>彼は私たちが何をやっていたかを知ることがを要求した |
| fail(失敗する)     | We <b>failed</b> to give a satisfactory answer.<br>満足できる答えを与えることができなかった     |
| hesitate(躊躇する) | I <b>hasitated</b> to tell the truth.<br>本当のことを言うことを躊躇した                    |
| hope(期待する)     | We <b>hope</b> to leave before dawn.<br>夜明けまでに去りたいと思う                       |
| intend(意図する)   | She <b>intends</b> to start her own club.<br>彼女は自分のクラブを始めるつもりです             |
| learn(習得する)    | They will <b>learn</b> to swim at camp.<br>キャンプで泳げるようになるでしょう                |
| need(必要とする)    | She <b>needs</b> to stop smoking.<br>彼女は喫煙をやめなければならない                       |
| offer(申し出る)    | They <b>offered</b> to take us home.<br>彼らは私たちを家まで送ってくれることを申し出た             |
| plan(計画する)     | We <b>plan</b> to accept their offer.<br>彼らの申し出を受け入れるつもりだ                   |
| prepare(準備する)  | She <b>prepared</b> to leave.<br>去る準備をした                                    |
| refuse(拒絶する)   | He <b>refused</b> to come with us.<br>彼は私たちと一緒に来ることを拒んだ                     |
| want(欲する)      | He didn't <b>want</b> to leave.<br>彼は出発したがらなかった                             |

|   |   |
|---|---|
| 誤 | The computer <b>failed running</b> the program.                           |
| 正 | The computer <b>failed to run</b> the program.<br>コンピュータはプログラムを走らせるのに失敗した |

(2-4-8b-1) EXERCISE

Choose the one word or phrase that best completes the sentence.

Mr. Ueda is preparing his speech.

- (A) give
- (B) giving
- (C) given
- (D) to give

(2-4-8b-2) **EXERCISE**

Choose the one word or phrase that best completes the sentence.

We did not want the meeting.

- (A) to delay
- (B) delaying
- (C) delayed
- (D) delay

(c) 不定詞 (to + verb)

|       |  |
|-------|--|
| 名詞用法  | <b>To study</b> is wise. [主語]<br>Tom wants <b>to travel</b> . [直接目的語]<br>His ambition is <b>to fly</b> . [主格補語]<br>He does nothing except <b>to loaf</b> . [前置詞の目的語] |
| 形容詞用法 | This is the road <b>to take</b> . [road を修飾]<br>We have the freedom <b>to choose our own religion</b> .  |
| 副詞用法  | The book is easy <b>to read</b> . [easy を修飾]<br>She came <b>to help</b> . [came を修飾]   |

(d) 分詞 (形容詞として用いられる)

|             |  |
|-------------|--|
| 現在分詞 (-ing) | <b>Smiling</b> pleasantly, he greeted us. [he を修飾] |
| 過去分詞        | Delighted, I accepted the trophy. [I を修飾]          |

(e) 動名詞 (-ing 語が名詞として用いられる)

|         |  |
|---------|--|
| 主語      | <b>knitting</b> requires patience.       |
| 直接目的語   | He enjoys deep sea <b>diving</b> .       |
| 主格補語    | Her hobby is <b>collecting</b> stamps    |
| 前置詞の目的格 | By <b>hurrying</b> , he arrived on time. |

9. 綴りまたは意味の似た単語

|           |   |
|-----------|---|
| 自動詞       | lie (横たわる)  |
| 現在時制      | <b>Lie</b> down here.<br>ここに横たわりなさい                     |
| 過去時制      | The dog <b>lay</b> on the floor.<br>その犬は床に横たわった         |
| lie の過去分詞 | He <b>had lain</b> down to sleep.<br>彼は寝るために横たわった       |
| lie の現在分詞 | Clothes <b>were lying</b> on the floor.<br>衣類が床に横たわっていた |

|           |  |
|-----------|--|
| 他動詞       | lay (横たえる)   |
| 現在時制      | <b>Lay</b> your books here.<br>ここに本を置きなさい              |
| 現在時制      | Now I <b>lay</b> me down to sleep.<br>寝るために横たえた        |
| lay の過去分詞 | She <b>has laid</b> her pen on the desk.<br>机の上にペンをおいた |
| lay の現在分詞 | Laying his pen down, he looked up.<br>ペンを置いて、上を見上げた    |

|                            |   |
|----------------------------|---|
| 自動詞                        | sit (すわる)   |
| 現在時制                       | The house <b>sits</b> on a hill.<br>その家は丘の上になっている |
| 過去時制                       | He <b>sat</b> down to rest.<br>休むために座った           |
| sit の過去分詞                  | He <b>has sat</b> there all day.<br>彼は一日中そこに座っていた |
| sit の現在分詞<br>彼はそこにずっと座っている | He <b>has been sitting</b> there.                 |

|           |   |
|-----------|---|
| 他動詞       | set (置く)  |
| 現在時制      | <b>set</b> the platter here.<br>ここに皿を置きなさい                  |
| 過去時制      | You <b>set</b> it there yesterday.<br>あなたがそこに昨日それをおいた       |
| set の過去分詞 | She <b>has set</b> the table.<br>彼女がテーブルの準備をした              |
| set の現在分詞 | He <b>has been setting</b> our plants.<br>彼が私たちの植木を植えてくれている |

この他に、

|     |                                     |
|-----|-------------------------------------|
| 自動詞 | rise(あがる), rose, risen, rising      |
| 他動詞 | raise(あげる), raised, raised, raising |

などがある。

## 2.5 形容詞と副詞

### 1. 形容詞ではなく副詞を用いる場合

#### (a) 動詞を修飾するとき

|   |                              |
|---|------------------------------|
| 誤 | He <b>sure</b> works hard.   |
| 正 | He <b>surely</b> works hard. |

#### (b) 形容詞を修飾するとき

|   |                               |
|---|-------------------------------|
| 誤 | He was injured <b>bad</b> .   |
| 正 | He was injured <b>badly</b> . |

#### (c) 副詞を修飾するとき

|   |                                     |
|---|-------------------------------------|
| 誤 | I drive <b>considerable</b> faster. |
| 正 | I drive <b>considerably</b> faster. |

## 2. 副詞でなく形容詞を用いる場合

(a) 連結動詞のあとで名詞を修飾するとき S + V + C

|   |  |
|---|--|
| 誤 | Janet is <b>jubilantly</b> .                                 |
| 正 | Janet is <b>jubilant</b> .<br>ジャネットは喜んでいる                    |
| 誤 | She looks <b>happily</b> .                                   |
| 正 | She looks <b>happy</b> .<br>幸せそうだ                            |
| 誤 | He looked <b>suspiciously</b> .                              |
| 正 | He looked <b>suspicious</b> .<br>彼は怪しい                       |
| 誤 | He looked <b>suspicios</b> at the box.                       |
| 正 | He looked <b>suspiciously</b> at the box.<br>ボックスのところで怪しく見える |

## 3. BAD, GOOD, WELL, BADLY の正しい用法

|   |  |
|---|--|
| 誤 | The car runs <b>good</b> . [形容詞]             |
| 正 | The car runs <b>well</b> . [副詞]<br>車はよく走る    |
| 誤 | My arm hearts <b>bad</b> . [形容詞]             |
| 正 | My arm hearts <b>badly</b> . [副詞]<br>腕がすごく痛い |
| 正 | I feel <b>good</b> . [形容詞、気分がよい]             |
| 正 | I feel <b>well</b> . [形容詞、健康である]             |
| 正 | I feel <b>bad</b> . [形容詞、気分が悪い]              |
| 正 | He feels <b>sorry</b> about losing the game. |

## 4. 比較級、最上級の正しい用法

| 形容詞           |                   |                   |
|---------------|-------------------|-------------------|
| 原形 (positive) | 比較級 (comparative) | 最上級 (superlative) |
| good          | better            | best              |
| bad           | worse             | worst             |
| tall          | taller            | tallest           |
| grateful      | more gratefull    | most gratefull    |

| 形容詞 |   |
|-----|---|
| 誤   | He is the <b>tallest</b> of the two boys.                       |
| 正   | He is the <b>tallest</b> of the three boys.<br>3人の中では、彼が一番背が高い。 |
| 正   | He is the <b>taller</b> of the two boys.<br>彼の方が背が高い            |

| 副詞            |                   |                   |
|---------------|-------------------|-------------------|
| 原形 (positive) | 比較級 (comparative) | 最上級 (superlative) |
| well          | better            | best              |
| quietly       | more quietly      | most quietly      |
| carefully     | less carefully    | least carefully   |



| 副詞 |  |
|----|--|
| 誤  | Of the two girls, I like Martha best.                        |
| 正  | Of the two girls, I like Martha better.<br>2人の中では、マーサの方が好きだ。 |
| 正  | Of the three girls, I like Martha best.<br>3人の中では、マーサが一番好きだ。 |

次の単語は比較級や最上級を持たない。unique, perfect, dead, fatal, empty, full

5. 定期的な時を表す副詞の位置 (文頭, 文末)

| 定期的な時を表す副詞 |   |
|------------|---|
| 誤          | The manager twice a week arrives early.                       |
| 正          | Twice a week, The manager arrives early.                      |
| 正          | The manager arrives early twice a week.<br>2週間に1回, 部長は早く到着する。 |

6. 不定期的な時を表す副詞の位置 (be 動詞, 助動詞の後, 動詞の前)

| 不定期的な時を表す副詞 |   |
|-------------|---|
| 誤           | Seldom the manager is late.                 |
| 誤           | The manager is late seldom                  |
| 正           | The manager is seldom late.<br>部長は、滅多に遅れない。 |

| 名詞句           | 助動詞 | 不定期的な時を表す副詞 | 主動詞    | 目的       |
|---------------|-----|-------------|--------|----------|
| The assistant | has | often       | worked | overtime |

| 従属節                                 | 代名詞 | 不定期的な時を表す副詞 | 主動詞     | 副詞      |
|-------------------------------------|-----|-------------|---------|---------|
| Since the manager hates to be late, | he  | always      | arrives | on time |

## 2.6 代名詞の正しい用法

1. 疑問代名詞 (interrogative pronoun) は質問をするときに用いられる。

|                           |
|---------------------------|
| <b>Who</b> came?          |
| <b>Which</b> is your hat? |
| <b>What</b> did you say?  |
| <b>Whom</b> did you see?  |

2. 不定代名詞 (indefinite pronoun) は特定でない人を表すときに用いられる。ach, either, neither, everyone, everybody, anyone, anybody, one, no one, nobody, someone, somebody

|   |
|---|
| <b>Everyone</b> expected the mayor to be reelected? |
| <b>Some</b> of her friends came?                    |

3. 関係代名詞 (relative pronoun) は先行詞を説明する節を表す。

|   |
|---|
| The man <b>who</b> called is Jones.<br>呼ばれた男はジョーンズである   |
| The older girl, <b>whom</b> you met, is Julia.<br>あなたが会った年の多いほうがジュリアです                                    |
| The term paper, <b>which</b> he wrote carefully, earned an A.<br>注意深く書いた学期の論文は A であった                     |
| The student <b>that (or who)</b> earned A's wrote thier term papers carefully.<br>A をとった学生は注意深く学期の論文を書いた。 |

注 文や節を参照するときには which を用いてはならない。

|   |   |
|---|---|
| 誤 | Dust and grime spotted his coat, <b>which</b> did not bother him. |
| 正 | Dust and grime spotted his coat, but the fact did not bother him. |

#### 4. 指示代名詞 (demonstrative pronoun)

|   |   |
|---|---|
| 正 | <b>This</b> is my book.   |
| 正 | <b>Those</b> are the shoes I meant.   |
| 誤 | She wanted to graduate and then go to Europe. <b>This</b> appealed to her.      |
| 正 | She wanted to graduate and then go to Europe. <b>This plan</b> appealed to her. |
| 誤 | She enjoys <b>those kind</b> of shows.  |
| 正 | She enjoys <b>that kind</b> of shows. [単数]                                      |
| 正 | She enjoys <b>those kinds</b> of shows. [複数]                                    |

#### 5. 相互代名詞 (reciprocal pronoun) each other, one another

|  |
|--|
| The two boys helped each other.        |
| The three girls talked to one another. |

#### 6. 再帰代名詞 (reflexive pronoun) (-self の形をした代名詞で目的格として用いられる)

|  |
|--|
| He hurt <b>himself</b> . [himself は主語 he を指している] |
| She made a promise to herself.                   |

|   |   |
|---|---|
| 誤 | John and <b>myself</b> went.                  |
| 正 | John and I went.                              |
| 誤 | She gave the book to Mary and <b>myself</b> . |
| 正 | She gave the book to Mary and <b>me</b> .     |

#### 7. 強調代名詞 (intensive pronoun) (-self の形をした代名詞で強調の目的で用いられる)

|   |
|---|
| I <b>myself</b> am to blame.            |
| They <b>themselves</b> are responsible. |

#### 8. 主格、目的格、所有格としての代名詞

| 主格   | 所有格           | 目的格  |
|------|---------------|------|
| I    | my, mine      | me   |
| you  | your, yours   | you  |
| he   | his           | him  |
| she  | her, hers     | her  |
| it   | its           | it   |
| we   | our, ours     | us   |
| they | their, theirs | them |
| who  | whose         | whom |

## 9. 代名詞としての関係代名詞

Notify **whoever** comes.

Select **whomever** you wish.

Give the prize to whoever wins. [whoever wins は名詞句で to の目的語であるが、whoever は wins の主語である)

## 10. 同格での代名詞

Two people, **you** and **she**, will go.

Father took us -Jean and **me**- downtown.

Let's **you** and **me** go to the store. [You と me は Let us の us と同格]

## 11. 関係副詞 (when, where, why) 関係副詞は、接続詞と副詞の2つの機能をもっている。

1) 先行詞のある場合先行詞は通常, the time when (時を表す語) / the place where (場所を表す語) / the reason why (理由を表す語) と考える。

誤 Tuesday **will be** the day when I **am** busiest.

正 Tuesday **is** the day when I **am** busiest.

火曜日は私が最も忙しい日です。

関係副詞 when で2つの文を結ぶときは、時制の一致に従わなければならない。

2-6-11a-1 EXERCISE Choose the word or phrase that is incorrect.

When the client finally arrived, Mr. Kono has been waiting for two hours.

This is the factory where my brother works.

ここが兄が働いている工場です。

The reason why he has lost his job is not clear.

彼が失業した理由は明らかではない。

## 2) 先行詞のない場合

the day を先行詞として when の前に補って考える。

I'll never forget when I first met you.

私は初めて君に会った時を忘れないだろう。

the place を先行詞として when の前に補って考える。

I'll never forget where I first met you.

私は初めて君に会った場所を忘れないだろう。

## 2.7 前置詞の正しい用法

| 時を表す前置詞 | 基本的な役割       | 用法  |
|---------|--------------|---|
| at      | 特定の時間を指定     | The train is due <b>at</b> 12:50  |
| on      | 日にちと日付を指定    | My brother is coming <b>on</b> Monday.<br>We're having a party <b>on</b> the fourth of July |
| in      | 一日の特定でない時間   | She likes to jog <b>in</b> the morning.<br>He started the job <b>in</b> 2002.               |
| for     | どのくらいの時間かを指定 | He held his breath <b>for</b> five minutes.<br>She has lived there <b>for</b> seven years.  |
| since   | 特定の日付を指定     | He has worked here <b>since</b> 2002.<br>She's been sitting there <b>since</b> 2:30.        |

| 場所を表す前置詞 | 基本的な役割   | 用法   |
|----------|----------|--|
| at       | 場所の1点を指定 | She works <b>at</b> the store.   |
| on       | ストリート名など | Her house is <b>on</b> 2nd street.   |
| in       | 場所を指定    | She works <b>in</b> a store.<br>She lives <b>in</b> Aoyama.<br>Aoyama is <b>in</b> Tokyo.<br>Tokyo is <b>in</b> Japna. |

| 方向を表す前置詞 | 基本的な役割    | 用法  |
|----------|-----------|---|
| to       | 場所への方向を指定 | They are driving <b>to</b> work together. |
| towards  | 場所への移動    | We are moving <b>towards</b> the light.   |

## (2-7-1-1) EXERCISE

Choose the one word or phrase that best completes the sentence.

Just leave the report  my desk before you go to lunch.

- (A) into
- (B) on
- (C) along
- (D) for

## (2-7-1-2) EXERCISE

Choose the one word or phrase that best completes the sentence.

The convention will be held  Tokyo.

- (A) at
- (B) from
- (C) for
- (D) in

## (2-7-1-3) EXERCISE

Choose the one word or phrase that best completes the sentence.

There is a meeting  Friday.

- (A) by
- (B) on
- (C) in
- (D) at

| 前置詞をとらない名詞           | 用法                                  |
|----------------------|-------------------------------------|
| home                 | Grandpa went home.                  |
| upstairs(downstairs) | Grandma went upstairs(downstairs).  |
| outside(inside)      | His son is outside(inside).         |
| downtown(uptown)     | we went downtown(uptown) yesterday. |

| 名詞と前置詞          |              |                  |
|-----------------|--------------|------------------|
| approval of     | fondness for | need for         |
| awareness of    | grasp of     | participation in |
| belief in       | hatred of    | reason for       |
| concern for     | hope for     | respect for      |
| confusion about | interest in  | success in       |
| desire for      | love of      | understanding of |

| 形容詞と前置詞        |               |                  |
|----------------|---------------|------------------|
| afraid of      | fond of       | proud of         |
| awareness of   | grasp of      | participation in |
| angry at       | happy about   | similar to       |
| aware of       | interested in | sorry for        |
| capable of     | jealous of    | sure of          |
| careless about | made of       | tired of         |
| familiar with  | married to    | worried about    |

| 動詞と前置詞        |                 |             |
|---------------|-----------------|-------------|
| apologize for | give up         | prepare for |
| ask about     | grow up         | study for   |
| ask for       | look for        | talk about  |
| belong to     | look forward to | think about |
| being up      | look up         | trust in    |
| care for      | make up         | work for    |
| find out      | pay for         | worry about |

| 前置詞の慣用表現      |                            |                               |                              |                                  |
|---------------|----------------------------|-------------------------------|------------------------------|----------------------------------|
| agree<br>同意する | to a proposal<br>提案に       | with a person<br>意見に          | on a price<br>値段に            | in principle<br>原則に              |
| argue<br>議論する | about a matter<br>ある事柄について | with a person<br>人と           | for proposition<br>提案について賛成の | against proposition<br>提案について反対の |
| compare       | X to Y                     | X を Y に例える                    | X with Y                     | X と Y を比較する                      |
| correspond    | to a thing                 | 一致する                          | to a person                  | 一致する                             |
| differ<br>異なる | from an unlike thing       |                               | with a person                |                                  |
| live<br>住む    | at an address<br>住所に       | in a house or city<br>家にまたは町に | on a street<br>ストリートに        | with other people<br>他人と一緒に      |

## 2.8 句の認知 (recognizing phrases)

句は主語と動詞を持たない単語の集まりである。

### 1. 前置詞句 (prepositional phrase)(前置詞+目的語)

|      |  |
|------|--|
| 形容詞句 | The girl <b>with blue eyes</b> is my sister. |
| 副詞句  | The cow jumped <b>over the moon</b> .        |
| 名詞句  | <b>Before dinner</b> is his time to rest.    |

## 2. 不定詞句 (infinitive phrase)(不定詞 + 目的語)

|      |   |
|------|---|
| 形容詞句 | I have a plan <b>to suggest to you</b> .  |
| 副詞句  | She came <b>to meet us</b> .<br>He is eager <b>to leave soon</b> .  |
| 名詞句  | <b>To visit Paris</b> is her wish.<br>She wants <b>to visit Paris</b> .<br>Her wish <b>to visit Paris</b> . |

## 3. 分詞句 (participle phrase) 形容詞として用いられる。現在分詞と過去分詞が用いられる。

|      |  |
|------|--|
| 現在分詞 | The boy <b>sitting on the porch</b> is my brother. |
| 過去分詞 | The purse <b>found in the store</b> is mine.       |

## 4. 動名詞句 (gerund phrase) 名詞として用いられる。

|         |  |
|---------|--|
| 主語      | <b>Eating pastries</b> is her downfall.  |
| 直接目的語   | She enjoys <b>eating pastries</b> .      |
| 主格補語    | Her weakness is <b>eating pastries</b> . |
| 前置詞の目的語 | She delights in <b>eating pastries</b> . |

## 5. 動詞句 (verb phrase) 動詞と助動詞によって作られる。

|                                      |
|--------------------------------------|
| He <b>has been invited</b> to speak. |
| 動詞句は動詞を含んでいるが主語は含んでいない               |

## 6. 独立句 (absolute phrase) 名詞または代名詞と分詞によって作られる。

|  |
|--|
| <b>The sun having set</b> , we started home. |
|--|

## 2.9 節の認知 (recognizing clauses)

## 1. 独立節 (independent clause) はそれ自身で意味が通る文である。

|                  |       |                          |
|------------------|-------|--------------------------|
| 独立節              | 等位接続詞 | 独立節                      |
| I found the key, | and   | I gave it back to George |

## 2. 従属節 (dependent clause) はそれ自身では文として成り立たない。

|                   |                              |
|-------------------|------------------------------|
| 独立節               | 従属節                          |
| I found the key   | after George left the house. |
| She read the book | that I had recommended       |

従属節は用法により分類できる。

## 3. 形容詞節 (adjective clause)

|  |
|--|
| The boy <b>who applied for work</b> was hired. |
| Everyone <b>who came</b> had a good time.      |

形容詞節はさらに制限節と非制限節に分類できる。

- (a) 制限節 (restrictive clause) はそれが修飾する人やものを見分けるために必要な情報を含んでいる。

|  |
|--|
| The boy <b>who applied for work</b> was hired. |
| Everyone <b>who came</b> had a good time.      |

- (b) 非制限節 (nonrestrictive clause) は文に厳密にいうと必要ではない叙述的な情報を与える。

Mary, **who won the lottery**, is in my class.

- (c) 副詞節 (adverb clause) は副詞と同じ働きをする。

| 次を意味する | 次のものを使って用いられる                | 用法  |
|--------|------------------------------|---|
| 時      | when, after, until, before   | I left <b>before</b> my family returned               |
| 場所     | where, wherever              | We went <b>where</b> land was fertile.                |
| 仕方     | as, as if                    | I proceed <b>as you directed</b> .<br>あなたが指図するように進んだ。 |
| 理由     | because, since               | I apologized <b>because I was sorry</b> .             |
| 条件     | if, unless                   | If <b>we are invited</b> , we shall go.               |
| 意図     | that, so that, in order that | She came <b>so that she might help</b> .              |
| 譲歩     | although                     | They came <b>although they were tired</b> .           |
| 結果     | that                         | He ran do fast <b>that he was exhausted</b> .         |
| 度合     | as                           | She is as happy as I [ <b>am happy</b> ].             |
| 比較     | than                         | He is taller <b>than I [am tall]</b> .                |

4. 名詞節 (noun clause) は名詞として用いられる。

|         |                                     |
|---------|-------------------------------------|
| 主語      | <b>That he tries</b> is evident.    |
| 直接目的語   | I know <b>that he went</b> .        |
| 主格補語    | My hope is <b>that he will go</b> . |
| 前置詞の目的語 | Speak to <b>whoever comes</b> .     |

5. 文の中の句 (clause in sentence)

- (a) 単文 (simple sentence) は1つの独立節だけで作られている文である。

The doorbell rang.

- (b) 重文 (compound sentence) は2つ以上の独立節を等位接続詞 (coordinate conjunction) (and, but, or, nor, for) を用いてつなげたものである。

The doorbell rang, and our guests arrived.

The clock struck three, the doorbell rang, and our guests arrived.

- (c) 複文 (complex sentence) は1つの独立節と1つ以上の従属節を従属接続詞 (subordinate conjunction) (after, if, because, etc) を用いて、主要節につなげるたものである。

| 従属節                        | 独立節                 |
|----------------------------|---------------------|
| As the clock struck three, | our guests arrived. |

- (d) 重複文 (compound-complex sentence) は重文と1つ以上の従属節で作られている文である。

| 従属節                        | 独立節                | 独立節                     |
|----------------------------|--------------------|-------------------------|
| As the clock struck three, | the doorbell rang, | and our guests arrived. |

## 2.10 主語と動詞の一致

1. 主語と動詞の一致

A **collection** of rare books **has been lost**. [単純主語 collection は単数扱い]  
珍しい本のコレクションが失われた

注 主格の人称は次のような語句を加えても変わらない。(with, like, together with, as well as, including, no less than)

|   |
|---|
| Elizabeth, together with her friends, <b>is coming</b> . [単純主語 Elizabeth は単数扱い]<br>エリザベスとその友達が来ます |
|---|

|   |
|---|
| The boy, as well as his father, <b>has arrived</b> . [単純主語 boy は単数扱い]<br>子供とその父親も到着した |
|---|

## (2-10-1-1)EXERCISE

Choose the word or phrase that best completes the sentence.

The officers of the company today at 1:00.

- (A) is meeting
- (B) meets
- (C) has met
- (D) are meeting

## (2-10-1-1)EXERCISE

Choose the word or phrase that best completes the sentence.

The police when the alarm goes off.

- (A) arrive quickly
- (B) is arriving
- (C) arrives quickly
- (D) has arrived

## 2. AND で接続された主語は複数扱い

|   |
|---|
| A book and a pencil <b>are</b> all I need. [主語は本と鉛筆より複数扱い]<br>欲しいのは本と鉛筆だけです |
|---|

|  |
|--|
| <b>are</b> chemistry and history required? [主語は化学と歴史より複数扱い]<br>化学と歴史は必修ですか |
|--|

例外 2つの主語が同一の人や物を表している場合は AND で結んでも単数扱い。

|  |
|--|
| My friend and benefactor <b>is</b> here. [友達と後援者は同じ人]<br>私の友達で後援者でもある人はここにいます。 |
|--|

Each と Every は例え AND で結ばれても単数扱い。

|   |
|---|
| <b>Each</b> man and <b>each</b> woman <b>is</b> responsible.<br>おのおのの男も女も責任があります。 |
|---|

|  |
|--|
| <b>Every</b> boy and girl <b>is</b> invited.<br>どの少年も少女も皆招待されています。 |
|--|

## 3. 単数扱いの主語を OR または NOR で結んでも単数扱い

|  |
|--|
| Tom or John <b>is</b> to go.<br>Tom または John は出かけるところです。 |
|--|

単数扱いと複数扱いの主語を either or, neither nor, not only but also で結んだ場合は動詞に近いほうにあわせる

|  |
|--|
| Neither Fred nor his it brothers <b>are</b> here. [brothers が動詞 are に一番近い]<br>フレッドも彼の兄弟もここに来ていない |
|--|

|  |
|--|
| Neither his brother nor Fred <b>is</b> here. [Fred が動詞に一番近い]<br>彼の兄弟もフレッドもここに来ていない |
|--|

## 4. 単数形の代名詞は単数扱い 単数形の代名詞は each, either, neither, everyone, everybody, anyone, anybody, one, no one, nobody, someone, somebody である。



|   |
|---|
| Everyone is welcome.<br>皆を歓迎します             |
| Either of us is ready.<br>私たちのどちらも準備ができていない |

注 All, any, none, such は意味によって単数扱いにも複数扱いにもなる。

|   |
|---|
| All are to bring cameras.<br>みな（一人ずつ）カメラを持ってくるように |
| All is lost.<br>みな失った                             |

5. 集合名詞は1つの集合体と考えたときは単数扱い

|  |
|--|
| The committee is meeting now.<br>委員会は今開かれている                           |
| The football team is intent on victory.<br>そのフットボールチームは勝利に全力を尽くそうとしている |

集合名詞は構成しているメンバーについて考えるときは複数扱い

|  |
|--|
| The committee are unable to agree.<br>委員会の委員は同意できない                  |
| The football team are putting on sweaters.<br>フットボールチームの選手はセーターを着ている |

6. いつも複数扱いの名詞

|  |
|--|
| The police arrive quickly when the alarm goes off. |
|--|

7. 複数形の名詞で単数扱い

|  |
|--|
| The news is encouraging.<br>そのニュースは勇気づけてくれる      |
| Mathematics is difficult for him.<br>数学は彼にとって難しい |

同じようなものに、measles, mumps, billiards, economics, athletics, whereabouts, などがある。

例外 はさみのように2つの刃で1つのものをなしている場合、必ず複数形で表し複数扱いである。  
(trousers, scissors, tweezers, pliers, など)

|  |
|--|
| His trousers are torn.<br>彼のズボンは破けている  |
| Her scissors are lost.<br>彼女のはさみがなくなった |

8. 助辞としての There There で始まる文では主語は動詞のあとに来て、その数を決定する。

|                                     |
|-------------------------------------|
| There are six children in the room. |
|-------------------------------------|

において、children が主語で動詞 are は主語と一致している。

|                                 |
|---------------------------------|
| There is one child in the room. |
|---------------------------------|

において、child が主語なので動詞は is となる。

注 There は副詞として場所を表すのに使われることもある。

|               |
|---------------|
| There he sat. |
|---------------|

助辞としての it は常に単数形の動詞があとに続く。

It **is** Aunt Allen and the twins.

It **was** the boys who telephoned.

9. 本のタイトル 本のタイトルは単数形であろうが複数形であろうが常に単数扱いである。

The **ambassadors is** a novel.

10. ものの単位

一つのユニットとして数えるときは単数扱い。

Ten **dollars is** the price.

Five **miles is** too far to walk.

一つのユニットでない場合は複数扱いにもなる。

The **dollars are** neatly piled.

The **miles seem** endless.

注 主語が算数の計算の場合は、単数扱いでも複数扱いでもよい。

Two and two **are [or is]** four.

Two and two **make [or makes]** four.

11. 関係代名詞 (who, which, that) は先行詞によって、単数扱いまたは複数扱いが決まる。

He is the only man **who smokes**. [who の先行詞は man]

He is one of many men **who smoke**. [who の先行詞は men].

We **who are** your friends congratulate you. [who の先行詞は we]

It is I **who am** responsible. [who の先行詞は I]

## 2.11 先行詞の人称と代名詞の一致

1. 単数扱いの代名詞 person, man, woman, one, anyone, anybody, someone, somebody, either, neither, each, everyone, everybody のことを表す代名詞は単数扱い。

Everyone did **his** best.

Neither of the girls has **her** books.

2. 先行詞が AND, OR, NOR で結ばれたときの代名詞

先行詞を AND で結ぶと複数扱い

John and Henry finished **their** work.

単数扱いの先行詞を OR, NOR で結んでも単数扱い

Neither John nor Henry finished **his** work.

単数扱いと複数扱いの先行詞を either or, neither nor, not only but also で結んだ場合は動詞に近いほうにあわせる

Neither teacher nor students were aware of **their** danger.

3. 集合名詞はその意味によって、単数または複数扱いの代名詞をとる。つまり、一つのまとまりとして考えた場合は単数扱い。それぞれのメンバー一人一人について考えた場合は複数扱いとなる。

The faculty has elected **its** officer. [The faculty(教授会)]

The faculty have paid **their** dues. [The faculty(教職員)]

4. 指示代名詞 this, that, these, those はそれらが修飾する名詞と一致しなければならない。

誤 He enjoys **those kind** of books.

正 He enjoys **that kind** of books.

正 He enjoys **those kinds** of books.



## 第3章 スペリング

### 3.1 スペリングの向上

#### 1. ei と ie

|             |   |
|-------------|---|
| e が c の後の場合 | chief, grief, niece, relief                               |
| そうでない場合     | receive, conceit, ceiling, deceive                        |
| 例外          | either, neither, leisure, seize, weird, financier, friend |

#### 2. e で終わる単語

|                              |                            |
|------------------------------|----------------------------|
| 母音の前の e は消去                  |                            |
| love + able = lavable        | fame + ous = famous        |
| desire + able = desirable    | come + ing = coming        |
| e が c や g に続く場合、母音の前の e は残す  |                            |
| courage + ous = courageous   | notice + able = noticeable |
| change + able = changeable   |                            |
| 他の単語との混乱を避けるために e をのこす単語     |                            |
| arrange + ment = arrangement | entire + ly = entirely     |
| care + ful = careful         | care + less = careless     |
| 例外                           |                            |
| due + ly = duly              | awe + ful = awful          |
| true + ly = truly            |                            |

#### 3. y で終わる単語

|                                  |                          |
|----------------------------------|--------------------------|
| 接尾語の前で y を i に変える                |                          |
| happy + ness = happiness         | mercy + full = mercifull |
| busy + ly = busily               | bury + al = burial       |
| ただし、ing の前では変えない                 |                          |
| modify + ing = modifying         |                          |
| y で終わる動詞で y の前が母音の場合 y を i に変えない |                          |
| sway + s = sways                 | joy + ful = joyful       |
| 例外                               |                          |
| pay + ed = paid                  | lay + ed = laid          |
| say + ed = said                  |                          |

## 3.2 発音の似た単語

|   |  |  |   |
|---|--|--|---|
| accept: 受け入れる<br>except: 除く<br><br>advice: 忠告<br>advise: 忠告する<br><br>affect: 影響する<br>effect: 結果<br>effect: 遂げる<br><br>all ready: 準備完了<br>already: すでに<br><br>all together: 一つの<br>まとまり<br>altogether: 全部で<br><br>brake: ブレーキ<br>break: 壊す<br>canvas: 布<br>canvass: 勧誘する<br><br>capital: 資産<br>capital: 州都<br>capitol: 建物<br><br>caret: 脱字符号<br>carrot: ニンジン<br>carat: カラット<br><br>clothes: 衣服<br>close: 閉じる<br>cloths: 布<br><br>coarse: 粗い<br>course: 科目<br><br>compliment: ほめる<br>complement: 補語 | council: 協議会<br>counsel: advice<br>counsel: 助言する<br>consul: 領事<br><br>decent: 礼儀正しい<br>descent: 降下<br>dissent: 異議<br><br>desert: 砂漠<br>desert: 捨てる<br>dessert: デザート<br><br>device: 装置<br>devise: 工夫する<br><br>diary: 日記 6<br>dairy: 搾乳場<br><br>dining: 食堂<br>dinning: 叫ぶ<br><br>discus: 円盤<br>discuss: 論じる<br>disgust: うんざり<br>させる<br><br>eminent: 顕著な<br>imminent: 差し迫った<br><br>formerly: 以前に<br>formally: 正式に<br><br>fourth: 4 番目<br>forth: 前進<br><br>hear: 聞く<br>here: ここ<br><br>instance: 例<br>instants: 瞬間 | irrelevant: 不適切な<br>irreverent: 不敬な<br><br>isle: 小島<br>aisle: 通路<br><br>its: it の所有格<br>it's: it is の短縮形<br><br>lesson: けいこ<br>lessen: 減らす<br><br>lose: 失う<br>loose:(adj) 自由な<br>loose:(v) 開放される<br><br>passed: 過ぎた<br>past: 過去の<br><br>personal: 私事の<br>personnel: 人々<br><br>piece: かけら<br>peace: 平安<br><br>presents: 贈り物<br>presence: 存在<br><br>principal: (adj) 主要な<br>principal: (noun) 校長<br>principle: 原理<br><br>proceed: 続行する<br>precede: 先導する<br><br>prophecy: (noun) 予言<br>prophesy: (verb) 予言する<br><br>quiet: 静寂<br>quite: 完全に<br><br>respectfully: 丁重に<br>respectively: めいめいに | right: 正しい<br>write: 書く<br>rite: 儀式<br><br>sight: 眺め<br>site: 用地<br>cite: 引用する<br><br>stationery: 便箋<br>stationary: 静止した<br><br>than: より<br>then: そのとき<br><br>their: 彼らの<br>there:あそこ<br>they're: they are<br><br>threw: 投げた<br>through: 通して<br>thorough:完全な<br><br>to: 前置詞<br>too: 副詞<br>two: 2 つ<br><br>weak: 弱い<br>week: 一週間<br><br>weather: 天候<br>whether: かどうか<br><br>whose: だれの<br>who's:who is<br><br>woman:女性<br>women:女性たち<br><br>your:あなたの<br>you're: you are |
|---|--|--|---|

## 第4章 EXERCISE 解答

2.4.7

(a) (A)